

(別紙4(2))

事業所名 グループホームふるさと

## 目標達成計画

作成日: 平成 22 年 7 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	家族との交流・情報の公開が十分とは言えない状況にあり、家族との連携を深め、共に本人を支える関係を作っていく。	定期的な情報の伝達と家族会を通じた意見交換。	ホーム内行事をご家族に案内、参加して頂く。年4回発行の「ふるさとだより」や、月1回生活の様子(写真と手紙)をご家族に伝えて行く。	12ヶ月
2	4	運営推進会議年間6回の開催が出来ておらず、推進会議の活性化が必要。	運営推進会議の活性化による地域との情報交換、ご意見等を運営に生かす仕組み作り。	年間スケジュールを定め、事前に委員の方へ開催月をお知らせすると共に、事前に会議議題も提示し、机上の会議だけでなく、食事を共にして頂く。また、行事に参加して頂く等、多岐にわたった推進会議を行う。	12ヶ月
3	27	個人記録にその人の生活が分かる記述が少なく、その人らしさに繋がる具体的な状況や言葉の記載が十分でない。	その人の生活記録であるという意識を持ち、記録として残す習慣付け。また、職員間の情報の共有化。	全員で記録の書き方について、統一するための勉強会を実施。その人らしさを日々のケアの中で観察する習慣を付ける。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。